とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	令和７年 8月

1，活動テーマ

＜テーマ＞自然

４歳児・・・花や葉で遊ぼう

＜テーマ設定理由＞

・オシロイバナの花が咲くと「色水したい」との声が聞かれた。ビニール袋に花と水を入れ揉んでみるときれいな色が出て、「見て、きれいでしょ」と花からできた自然の色を楽しんでいるようであった。花の色、量、葉などでも様々な変化を楽しめると思ったことと、遊びが深まると思ったのでテーマに設定することにした。

2，活動スケジュール

・好きな花や葉をビニール袋に入れて揉んで色水を作って楽しむ。
・すり鉢に花や葉を入れてすり棒ですって遊ぶ。
・花や葉でできた色水を使って、絵を描いたり、染め紙をしたりする。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

・園庭に咲いている花や葉　　・ビニール袋
・すり鉢とすり棒　　・透明なペットボトルやバケツ
・絵を描く（筆、画用紙）　　・染め紙

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

①園庭に咲いている花や葉を摘み、水と一緒にビニール袋に入れて揉んでどのような色ができるのかを楽しむ。様々な花や葉を加えたり、量を変えたりしながら色の変化を楽しむ。
②すり鉢ですって色を出して遊ぶ。
③できた花や葉の色水をペットボトルなどの透明な入れ物に入れる。
④花や葉の色水を使って絵を描いたり染め紙をしたりと始めての経験をする。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり＞

＜花や葉を摘んで色水を作る＞

・花や葉、水をビニール袋に入れて揉んで色水を作る。

子どもの声

「色が出ない。どうやってするの？」「こうやってするんだよ」→友達同士で教え合っていた。

保育士の声

「違うお花や葉っぱを入れたらどうなるかな？」

＊様々な花や葉を使って色の変化を楽しんでいた。

＜すり鉢とすり棒を使って花や葉をする＞

子どもの声

「葉っぱでも色がでるんだね」

「お茶みたいになった」

＜自然物で作った色水で遊ぶ＞

保育士の声

「この色水で絵を描けるかな？やってみる？」

子どもの声

「描きたい！描きたい！」

「全然色が出ない！」

＊ここで絵の具を足しました。

＊染め紙も自然物の色水で染めるには色の濃さが足りず薄かったです。

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

・自然物を使った色水は花や葉の量を変えたり、揉んだりすったりしながら色を出すなど試したり工夫しながら遊ぶことができ、既製の玩具では体験できないような遊びのように感じた。また、保育士の「この色水で絵を描いてみる？」という提案に子ども達が興味を持ってくれたことが嬉しく、失敗もあったが一緒に探究できて良かったと思う。今回の活動は継続的に遊ぶことで遊びの輪が広がっていった。他の遊びや活動も自然と遊びの輪が広がるような環境を整えていきたい。